2023.2.15

Press Release

斉と公平太

「Big history & Days」

2023年3月4日(土)-4月2日(日)11:00-19:00 月火祝休廊

タリオンギャラリーでは、斉と公平太による個展「Big history & Days」を開催いたします。 是非ともご覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

斉と公平太は美術をひとつの問いとして引き受けながら、独自のリサーチに基づく実証的な設問と冗談めいた解答を繰り返すように、絵画、立体、インスタレーション、執筆、デザインなど、多様な表現手法において制作活動を展開しています。白黒の模様が回転すると色がついて見える現象を利用したベンハムの独楽という玩具をもとに、直径 4 メートルの独楽を制作して回転させた作品『グスタフ・フェヒナーもしくはベンハムの独楽』(2018 年)や、ジェフ・クーンズにも引用された古典的図像であるオオウチ錯視の作者である正体不明の日本人について調査を進め、遂に本人を発見する顛末をつづった『オオウチ錯視の作者を探す旅』(2014 年)など、視覚現象をもとにした美術作品と商品その他の様々な流通形態を対置することで、価値を生みだす制度の在り方に思考をめぐらせるプロジェクトなどを行ってきました。

また一方で、あいちトリエンナーレ地域展開事業として開催された「岡崎アート & ジャズ 2012」に『オカザえもん』を出品し、予期せず愛知県岡崎市のご当地キャラクターとして全国 的に知れ渡り注目を集めたほか、中日新聞ウェブでの「芸術は漠然だ!~斉と公平太のムダに 考えすぎ~」のコラム連載など、美術家としての活動領域は多岐にわたります。軽妙でばかば かしくもある諧謔やユーモアがにじみ出る特徴的なニュアンスによって、斉との多面的な作品 展開はアイロニーや制度批判を含むものとして見ることができますが、そのアプローチは一貫 して作家自身が決して手放そうとしない問い、美術とは何かという漠とした穴ぼこの中心に向 けられています。これまで「あいちトリエンナーレ 2010」に参加、アートラボあいちや市民ギャラリー矢田など愛知を中心に展示を行なっており、東京での個展は 23 年振りとなります。

本展では、人類史や美術史といった大きな時間の流れ (Big Hisotory) と、一人の個人が体感できる日々の時間 (Days) の接続をテーマとしています。50 万年前の貝殻に人が刻んだ模様や、7万3千年前の石の薄片につけられたパターンを模した絵画、画像生成ソフトによって制作された女性の肖像画などとともに、本展に向けて時間について考えるために、2023年1月に名古屋から東京までを斉と公平太が徒歩で移動したことから生まれる作品によって構成されます。これまで人類最古の美術と考えられてきた洞窟壁画などよりさらに年代をさかのぼる造形物が新たな研究や発掘によって明らかにされ、また同時に人工知能の発展によりイメージの蓄積から新たなイメージを瞬時に生成する技術が登場したことで、美術史の起源や射程もその都度更新を迫られています。こうした歴史として定式化される時間の流れと、一人の個人が経験可能な時間はどのように結節し、展示という視覚形式において現れるのか。どうぞご期待ください。



斉と公平太 | 2023.01.20 | 2023 | AI 画像生成、デジタルプリント | 5.5×5.5cm

斉と公平太 Koheita Saito

1972 愛知県生まれ

1995 名古屋造形芸術大学 (現・名古屋造形大学)卒業

現在、愛知を拠点に活動。

主な個展

2021 「断続・プロット・生活」See Saw gallery+hibit (愛知)

2018 「グスタフフェヒナーもしくはベンハムの独楽」

アートラボあいち (愛知)

2015 「がまごおり物語 2」蒲郡図書館(愛知)

2014 「オオウチハジメ氏を探す旅」みやざきアートセンター(宮崎)

2013 「がまごおり物語」蒲郡図書館(愛知)

2009 MUZZ PROGRAM SPACE (京都)

1999 ギャラリー CANOLFAN (愛知)

1998 Nagamine Project (東京)

主なグループ展

2022 「2021 年度第3期コレクション展」愛知県美術館(愛知)

2019 「非零和無限不確定不完全情報ゲームとしてのアート?」

TALION GALLERY (東京)

「3331 アートフェア 2019」アーツ千代田 3331 (東京)

2017 「TARO 賞 20 年 /20 人の鬼子たち」 岡本太郎記念館 (東京)

「ファン・デ・ナゴヤ美術展 2017 fiction-friction」

市民ギャラリー矢田 (愛知)

2016 「ユーレイの海馬」市民ギャラリー矢田 (第2展示室)(愛知)

2010 「あいちトリエンナーレ 2010」まちなか会場(愛知)

2009 「長者町プロジェクト 2009」名古屋市中区長者町繊維街(愛知)

2008 「アーツチャレンジ 2008」 愛知芸術文化センター (愛知)

2005 「第8回岡本太郎記念現代芸術大賞展」

川崎市岡本太郎美術館(神奈川)

2000 「空き地」豊田市美術館(愛知)

1998 「VOCA1998 現代美術の展望―新しい平面の作家たち」

上野の森美術館 (東京)

1994 「勉強時代展 " P-HOUSE (東京)

主な受賞展

2015 平成 26 年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞 2005 第 8 回岡本太郎記念現代芸術大賞展 特別賞

主な執筆

2017- 中日新聞プラス コラム

「芸術は漠然だ!~ 斉と公平太のムダに考えすぎ~」連載

(2017年6月~現在)



ART くん I 2009

「2021 年度第3期コレクション展」愛知県美術館での展示風景(愛知)



スナック菓子の模型 | 2021 | 紙、絵の具 | 30×30×5cm



斜線折れる絵とそれを立体にしたもの I 2021 木材、ペンキ、蝶番 | See Saw Gallery + hibit での展示風景 (愛知)



「非零和無限不確定不完全情報ゲーム としてのアート ?」 | 2019 TALION GALLERY での展示風景 撮影: 木奥恵三

__

本展覧会に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、 ご質問などございましたら、下記お問い合せ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[展覧会概要]

展覧会名 Big history & Days

アーティスト 斉と公平太

会期 2023年3月4日(土) - 4月2日(日) 11:00-19:00

定休日:月・火・祝日

会場TALION GALLERY 東京都豊島区目白2-2-1 B1企画上田剛史 (TALION GALLERY ディレクター)

[注意事項]

ご来場の際には、以下の点についてご協力をお願いしております。 最新の情報はギャラリーWebサイトtaliongallery.com にてご確認ください。

- ・展示室内の密集を避けるため、入場制限を行う場合がございます。
- ・発熱、せき等の症状がある方はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用とカウンター設置の消毒液のご利用をお願いいたします。

[お問い合せ]

TALION GALLERY 広報担当

Email: info@taliongallery.com Tel/Fax: 03-5927-9858

171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: www.taliongallery.com